

「まちづくり戦略ビジョン」策定に係る市民参加の取組状況について

1 アンケートの実施 【平成23年6月：市民アンケート、道外ネットアンケート】

おもに「札幌の魅力」と「札幌の課題」について、無作為抽出により18歳以上の札幌市民10,000人へのアンケート及び道外在住の札幌居住経験者へのネットアンケート調査を実施いたしました。

(1) 「札幌の魅力」(下記10分類、分類ごとに5つの評価項目、5段階の魅力度)

魅力10分類：①自然 ②環境 ③景観 ④歴史 ⑤文化 ⑥安心 ⑦地域 ⑧経済 ⑨交流 ⑩都市機能

①札幌市民

- 「自然」の魅力度が高く、次に「環境」、「景観」の魅力度が高い
- 「経済」の雇用やビジネス環境、「地域」の地域活動や子育て・介護支援などの魅力度が低い

②道外在住の札幌居住経験者

- 「自然」、「景観」は特に魅力度が高い
- 「経済」は食文化や札幌ブランドなどの魅力度は高いが、雇用やビジネス環境の魅力度が低く、「地域」は地域活動や子育て・介護支援などの魅力度が低い

(2) 「札幌の課題」(下記10分類、分類ごとに5つの取組項目、5段階の重要度)

課題10分類：①少子高齢化 ②市民自治 ③保健・医療・福祉 ④経済・雇用 ⑤グローバル化
⑥地球環境問題 ⑦都市機能 ⑧文化・スポーツ ⑨防災 ⑩北海道活性化

①札幌市民

- 「人口減少・少子化・高齢化への対応」、「震災への対応や災害に強いまちづくり」、「地球環境問題への対応」が特に重要だと認識

②道外在住の札幌居住経験者

- 「地球環境問題への対応」、「人口減少・少子化・高齢化への対応」が特に重要だと認識

(3) 「理想の札幌」(連想するキーワードやキャッチフレーズ/自由記述 ⇒頻出語上位)

①札幌市民

- 安心 ●自然/自然環境 ●住みやすい/過ごしやすい ●子ども ●高齢者

②道外在住の札幌居住経験者

- 自然/自然環境 ●住みやすい/過ごしやすい ●都会 ●北 ●きれい/美しい

2 「将来の札幌を考える市民会議」の開催 【平成23年7～9月、計6回】

市民の皆さんの目線で、将来の札幌市の目指すべき姿やまちづくりの目標などについて、ワークショップ形式で検討を行いました。会議の成果は、10月24日に市長へ報告しています。

(1) 委員の構成

前述の市民アンケートに回答された方のうち、市民会議への参加を希望された264名の方の中から、性別、年齢層、住所のバランスを考慮して選出した29名で構成。

(2) 市民会議の提案内容 <報告書参照>

●さっぽろのまちの将来像

「いいっしょ！一緒に ～支え愛のまち札幌～」

●まちづくりの柱

- 1 全ての市民が見守り支え合う、暮らし・地域づくり
- 2 『食・観光・人』の素材を徹底的に活かした産業づくり
- 3 自然と都市が共生する『緑』と『白』のまちづくり
- 4 市民が学び育てる『さっぽろ文化』づくり
- 5 市民の気づきを通じて内側から湧き出すまちの魅力づくり

3 「さっぽろ1000人ワールドカフェ」の開催 【平成23年7月】

市民一人ひとりがまちの未来を考えるきっかけにするとともに、札幌の将来像の検討素材とするため、最近全国的にも注目を集めている「ワールドカフェ」という話し合いの手法を用いた、誰でも気軽に参加いただける大規模ワークショップを開催いたしました。

札幌の魅力を探り、参加者が望むさっぽろの将来像について語り合いました。

日 時	平成23年7月18日(月・祝) 13:00～16:30
会 場	ロイトン札幌 3階ロイトンホール
参加者数	440名
プログラム	第1部：ゲスト4名と上田市長によるトークセッション 《テーマ：「そと」に誇っていききたいさっぽろ》 第2部：ワールドカフェ 《テーマ：さっぽろの魅力、これから目指したいさっぽろの姿》
結 果	わたしたちが望む、これからの“さっぽろ” <抜粋> ●住みたい、住み続けたいまち ●才能ある若者にチャンス・夢・希望を与える ●男を育てる街(女性が強い) ●子供がノビノビできるまち ●商売上手なさっぽろ ●外貨を稼ぐ街 ●すすきの活性化! ●優秀な人材がもどってきやすい街 ●自然ありながらの都市 ●クリーンエネルギー(太陽・雪・波)の先進地に ●東京・大阪ではなく世界を意識した街づくりへ! ●北海道のindex(ハブ)になれる街 ●観光客がとけ込める街 ●“札幌のよさ”を市民全員が言えるまち ●スイーツに力 ●雪を使ったエコ都市 ●市民どうしが活発に対話できる街 ●つなぐ・つなげる・つながれるまち ●フロンティアスピリット ●失敗していいまち ●「そと」の人が受け入れられやすい街 ●世代、障がいの有無、国籍等、関係なく共生できるまち ●年配者がキャリアを活かせるまち ●大きすぎず丁度良い規模の街 ●絵に書きたくなるような街 ●「キッカケ」をつなげられるまち ●クリエイティブなまち ●音楽とビールが似合う街 ●Art、Fashionの街

4 「テーマ別ワークショップ」の開催 【平成23年10月】

「市民アンケート」で重要度の高かった4テーマについて、札幌市の取組に対する成果と課題について議論したうえで、今後重点をおくべき取組を提案していただきました。

※ 行政評価制度への市民参加の促進を目的とした「市民評価」の取組と一体的に実施

(1) 参加者

無作為抽出により20歳以上の札幌市民3,000人へ参加案内を送付し、参加を希望された80名を参加者と決定(本人都合による辞退者もあり、当日参加者68名)

(2) 今後、重点を置くべき取組 <抜粋>

●テーマ1(高齢化社会に対応したまちづくり)

「多世代で交流できる居場所の充実」「ボランティアのポイント制度をつくる」など

●テーマ2(防災を意識したまちづくり)

「家族連れや若者も楽しみながら参加できる防災イベント」「正しい情報を得る手段を確保」など

●テーマ3(未来を担う子どもたちを育むまちづくり)

「札幌らしい教育(プロスポーツ、自然・農業体験)」「安心して子育ての相談ができるSNSサービス」など

●テーマ4(環境に配慮したまちづくり ～省エネ、みどり)

「家庭の目標値を共有化してCO2削減」「自分の家のまわりに花を植える『1軒1鉢運動』」など